大和市市民環境調査事業

ツバメ情報調査

実施報告書

令和元年度

目次

１　はじめに　　　　　　　　　　・・・・・1ページ

２　講習会の実施　　　　　　　　・・・・・1ページ

３　調査方法　　　　　　　　　　・・・・・2ページ

４　調査報告結果　　　　　　　　・・・・・3ページ

５　まとめ　　　　　　　　　　　・・・・・6ページ

1　はじめに

近年、ツバメは減少傾向にあると言われており、その背景には、エサ場となる水田や耕作地の減少、巣作りに適した日本家屋の減少などが影響しているのではないかと考えられています。さらに、地球温暖化の影響により、ツバメの飛来が早まっているとも言われています。

市内でのツバメ生息状況の調査を通じて、身近な自然への関心を高め、地球環境を保全していく大切さについて理解を深めることなどを目的に、市民環境調査の一環として、平成 26 年度から「ツバメ情報調査」を実施しています。

2　講習会の実施

日　時　：　平成３１年4月２０日（土）１３時００分～１５時００分
場　所　：　渋谷学習センター
参加者　：　９名

市民環境調査員として調査するにあたり、ツバメに関する基礎知識等の習得を目的として、公益財団法人日本野鳥の会の協力のもと、「ツバメ情報調査講習会」を実施しました。当講習会では、大和市で見られるツバメやその見分け方、生態、取り巻く環境の変化等を学びました。

時間	内容	講師
13:00～14:10	・ツバメの生態について ・ツバメの現状について ・ツバメの子育て状況調査参加方法について	日本野鳥の会 葉山　政治 氏
14:10～14:25	・調査員証の授与 ・大和市の調査について	
14:30～15:00	・フィールドワーク 高座渋谷駅東口周辺にて 実際にツバメの巣を観察	日本野鳥の会 葉山　政治 氏

講習会などの風景…

ツバメについての講習会風景

ツバメの巣の観察風景・巣作りを始めたツバメ

3　調査方法

主に、市民環境調査員の方が、大和市内に営巣しているツバメの巣を観察し、営巣状況や雛の生育状況を調査しました。調査した内容等は、日本野鳥の会が運営するホームページの「ツバメの子育て状況調査」に入力することとし、その巣の経過や他の巣の状況を、誰でも確認できるようにしました。このホームページでは、大和市だけでなく、日本全国で調査されたツバメの巣などについて情報を閲覧することができます。このほか、一部の巣については、手書きの調査票にて報告していただいたものもあります。なお、調査期間については、講習会の翌日から８月３１日までとしました。

【参考】ツバメの子育て状況調査ホームページ：http://tsubame.torimikke.net/

4　調査報告結果

報告があった巣について、５つの地域に分けて紹介します。営巣状況については、市民環境調査員又は市職員が、不定期で確認したものであり、実際の営巣状況と異なる場合があります。また、下の図で示した場所については、おおよその地点を示していますので、実際の場所と異なる場合があります。

１）つきみ野での営巣状況

つきみ野駅周辺に１巣の営巣の報告がありました。

【凡例】

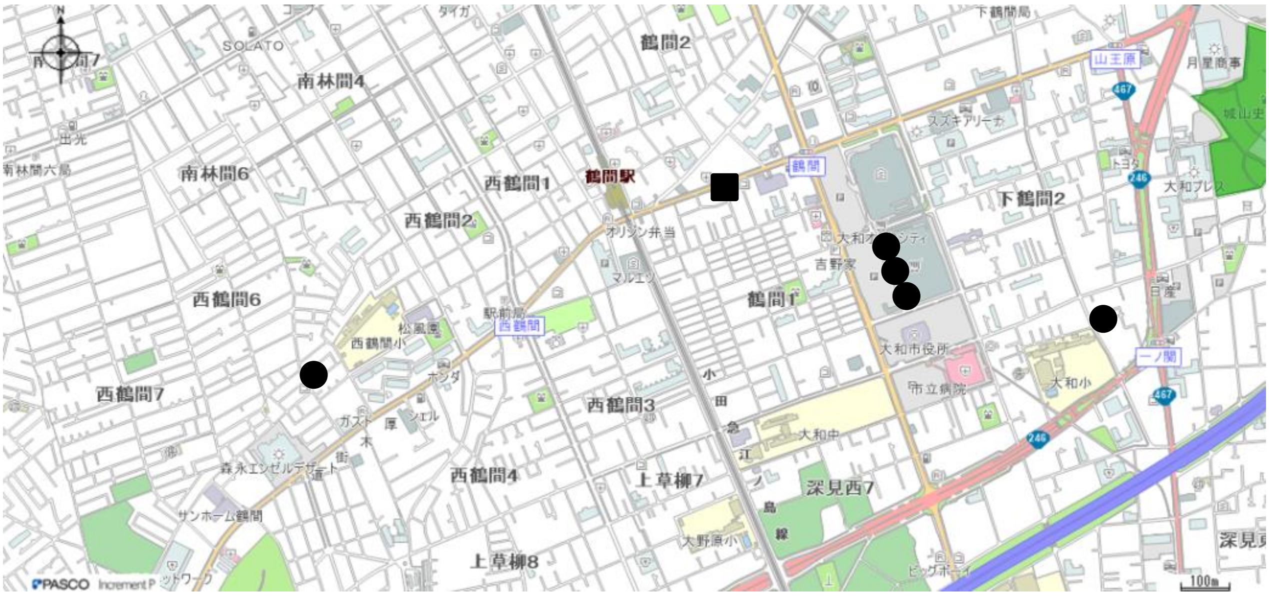
●雛の巣立ちまで確認できた巣

▲雛を確認できた巣

■繁殖状況が不明の巣・失敗した巣

２）鶴間での営巣状況

西鶴間地区に１巣、鶴間地区に１巣、下鶴間地区に４巣の営巣の報告がありました。



3）大和での営巣状況

中央地区に１巣の営巣の報告がありました。

【凡例】

●雛の巣立ちまで確認できた巣

▲雛を確認できた巣

■繁殖状況が不明の巣・失敗した巣

4）桜ヶ丘での営巣状況

福田地区に１巣の営巣の報告がありました

5）高座渋谷での営巣状況

高座渋谷駅周辺では、７巣の営巣の報告がありました。そのうち６巣は、同じ軒下に営巣していました。

５）繁殖状況について

◎雛の巣立ちを確認できた巣（地図上●の巣）

場所	巣立った雛の数	備考
西鶴間コンビニ	不明	
市役所北側スーパー	４羽	
市役所北側スーパー	３羽	
市役所北側スーパー	４羽	
大和小学校付近	不明	
中央五丁目付近	５羽	
桜ヶ丘中央病院	不明	
合計　　　　　７巣	１６羽	

※　調査報告によると、合計で１６羽の雛が巣立ちました。巣立った雛が確認できた巣の状況を平均すると、1 巣あたりの巣立った雛の平均は、4.0 羽（巣立った雛の合計（16 羽）÷雛が巣立った数のわかる巣の合計（4 巣））でした。
巣立った雛の数が不明な巣は除きました。

◎雛は確認できたが、巣立ちを確認できなかった巣（地図上▲の巣）

場所	不明の巣の数
下福田小学校	１巣
高座渋谷駅東口軒下	２巣
合計	３巣

◎巣作りは確認できたが、繁殖状況未確認又は不明の巣（地図上■の巣）

場所	巣の数	備考
つきみの駅周辺	１巣	
鶴間二丁目付近	１巣	大雨の影響
高座渋谷駅東口軒下	４巣	人がこわしたと思う
合計	６巣	

5 まとめ

過去５年間の調査結果は、下の表のとおりです。巣立った雛は、減少傾向にあります。営巣場所は、商店のひさし、駅や福祉施設の軒下など人の出入りが多いところにあり、昨年度と同じ場所に営巣する事例も報告されています。

一方、繁殖に失敗した巣についても報告されています。ツバメが巣作りや繁殖に失敗する原因は、カラスなどの外敵に襲われること、人が巣を破壊するなど人為的なものなどが挙げられます。今年度は、人為的に巣が壊されたと思われるとの報告があります。

今年度の報告状況は、例年より巣の数及び雛の数は少ない結果でした。これは環境の変化によるツバメの数の減少とは別に、調査報告件数の減少も要因と思われます。ツバメは市内の北部から南部まで飛来が確認されています。巣立ちまで調査を継続することの大変さを感じます。引き続き、調査を継続し、ツバメが営巣できる環境を維持する必要があります。

（表）過去５年の繁殖状況一覧

	H27	H28	H29	H30	R1
巣の数（巣）	10	20	11	18	4
雛の数（羽）	62	94	57	65	16
巣立った雛の平均（羽）	6.2	4.7	5.2	3.6	4.0

令和元年度 大和市市民環境調査事業「ツバメ情報調査」実施報告書

■協力　　公益財団法人 日本野鳥の会

■編集　　大和市 環境農政部　環境総務課

■発行　　大和市
大和市下鶴間一丁目１番１号
TEL　046-263-1111（代表）

R100
古紙配合率100％
白色度70％再生紙を使用しています